

評価基準

審査項目、審査基準	配点	採点の参考とする書類	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
基本事項（配点合計40点）							
1 適格性 基準：提案事業の運営を適切に行うことができる事業者か ・財務状況 ・資産、資本 ・取引先 など	10点	応募者概要・事業経歴書（様式2－1）	10	7	5	3	0
2 堅実性 基準：提案事業が計画的に行われるか ・提案事業の内容 ・事業計画の実現性 など	15点	事業計画書（様式5－1、5－2）	15	11	7	3	0
3 安定・継続性 基準：提案事業の収支計画は適切か ・収支の見込み ・資金計画 など	15点	収支計画書（様式6）	15	11	7	3	0
事業内容（配点合計60点） ※提案事業の内容が、審査項目4及び5の両方に当てはまる場合は、両方の項目に対し採点してください。							
4 教育活動のための利活用か	20点	事業計画書（様式5－1、5－2）	20	15	10	5	0
5 地域振興に貢献することができる利活用又はその他公共性の高い事業活動のための利活用か ・本市の振興に資するか ・地域の振興に資するか ・地域の活性化に資するか など	20点	事業計画書（様式5－1、5－2）	20	15	10	5	0
6 価格 ・利活用希望者が提案する貸付料について 採点基準：別記のとおり	20点	借受希望価格調書（様式4）	20	15	10	5	0

価格の採点基準

- ・極めて良好 貸付料基準額<提案価格
- ・良好 貸付料基準額＝提案価格
- ・普通 提案価格が貸付料基準額の1／2以上
- ・やや不十分 提案価格が貸付料基準額の1／2以下
- ・不十分 提案価格が0（無償貸付けを希望）

評価点の集計方法

評価点については、項目ごとに最高点及び最低点をつけた選定委員の点数を除くものとします。ただし、同一の審査事項において、最高点又は最低点をつけた選定委員が複数となったときは、それぞれいずれか1名の選定委員の点数を除くものとします。

利活用候補者及び次点利活用候補者の選定

選定委員会において、審査により、各選定委員の評価点を加算し、最も評価点が高い者を利活用候補者とし、次点の者を次点利活用候補者とします。
なお、評価点が同点の場合は、選定委員会で協議し、順位を決定します。次点利活用候補者が同点の場合も同様とします。
審査の結果、一定水準を満たしている提案がない場合、利活用候補者及び次点利活用候補者を決定しないことがあります。
この場合の一定水準とは、合計点では、50点を超えた点数とします。